

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 新誠建設有限会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念や経営目標は会議時に従業員へ説明し共有している。								8	9											17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・建設業法、独占禁止法など、法令遵守の重要性については社内会議時に周知徹底している。																			16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為に関与しないため、建設業法や独禁法に則り業務を行うよう、会議時に周知し徹底している。										10									16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・現場では騒音や埃など環境への影響を配慮し、各現場ごとに現場代理人や技術者を配置し、作業手順に従って組織的に対応している。																				16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・会議時に知的財産の重要性や必要性を周知し、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9										16			
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報については、従業員が容易に閲覧できないよう保管及び管理しており、書類を破棄する際にはシュレッダーを利用し適切に処理している。																				16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・着工前には現場周辺の近隣住民へ、工事で発生する騒音や埃について理解と協力をいただくため、挨拶回りを行い、施工中も定期パトロールにて適時対話に取り組んでいる。																			16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17				
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11							13.1	16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9											17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2						8					12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・相談窓口を設置し、性別・年齢・障害・国籍・出自などで、雇用条件や職場環境で差別がない体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・毎日のKY活動と毎月の安全教育にて、労働災害防止に取り組んでいる。			3					8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3												
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・仕事の進捗状況に合わせ早期終業を実施、また、有給休暇等の取得を奨励し、家庭と仕事の両立を推奨している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・土木施工管理技士などの資格取得を推奨するため、取得費用を会社で負担している。				4	5.5			8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・社員の健康維持向上を目的として、年一回の健康診断を会社負担で実施している。			3					8													17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性の管理職起用や高齢者の再雇用に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3										16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・感染症対策として、テレワーク制度の導入やワクチン接種の推奨を行っている。			3						8	9.1		11	12									
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●											8	9.1		11	12									
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●						3	4				8	9			12									

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 新誠建設有限会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工事現場から排出される産業廃棄物は種類ごとに分別し、収集運搬、中間処理、最終処分に関してはマニフェスト伝票で確実に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて、エネルギー使用量を把握し、照明のLED化や電気製品の主電源をこまめに切るなど電力の削減に取り組んでいる。							7.3							13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いて、CO2排出量を把握し、社有車は低燃費車へ切り替え、エコドライブを行う等、使用燃料削減及びCO2削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15							
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・現場で発生する廃棄物（アスファルト殻等）の管理を徹底し、専門の産廃業者へ処分を依頼する等、環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・社内文書はペーパーレス化を図り、印刷時には再生用紙や裏紙の利用を推進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・社内では節水に対するポスターを掲示し、現場では汚濁水を適切な管理のもと、分別・処理に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6						11.5			14.1 14.2 14.3	15			17			
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・リサイクル製品を活用するため、現場では再生アスファルト合材や再生クラッシャーランを使用している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15						
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17		
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・事務所の敷地内に、花壇を設置するなど緑化に取り組んでいる。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.17		

